

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	結核予防事業						担当部	健康福祉部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	保健センター			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	予防係		
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		10 健康づくり		1 体の健康づくりへの取組みを支援する				
		副目的									
	予算区分	款	4	項	1	目	2	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画	感染症予防法									
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	64 %		委託	36 %		助成	0 %		
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	幼児を対象に結核を予防し、高齢者を対象に結核を早期に発見し、結核の感染の広がりを防いでいく。									
	内容 (手段)	<p>○平成23年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生後6か月以内の幼児を対象に保健センターでの4か月児健診時にBCGの接種を実施した。</li> <li>・65歳以上の高齢者を対象に各市民センター、公民館、コミュニティーセンターで健診車によるX線撮影を実施した。</li> <li>・職員は、BCG予防接種の受付及び介助、胸部X線撮影の受付事務等を行った。</li> </ul> <p>【直接経費の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>賃金等(825千円)</li> <li>消耗品、医療材料費等(4,939千円)</li> <li>結核予防委託料等(3,532千円)</li> </ul> <p>○平成24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BCGの接種、検診車によるX線撮影については、平成23年度と同様に実施する。</li> <li>・検診車によるX線撮影については、老人保健センターで実施する。</li> </ul>									
受益者負担	無										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	10,735	9,511	9,296	11,557	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	531	531	531	531
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	11,266	10,042	9,827	12,088	
	対前年比	%		89.1	97.8	123.0		
財源	一般財源	千円	11,266	10,042	9,827	12,088		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	業	BCG実施数	回	目標	48	48	48
実績				48	48	48	
胸部X線健診実施数(住民健診)		回	目標	5	5	5	5
			実績	5	5	4	
業			目標				
			実績				
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	BCG接種者数	人	目標	—	—	—	—
実績			1,459	1,444	1,467		
業	胸部X線検診受診者数(住民健診)	人	目標	500	500	500	500
			実績	349	263	238	

事業の自己評価	事業の達成状況	結核の感染を予防するためのBCG接種率は98.2%であった。結核を早期に発見するために、胸部X線検査を65歳以上の高齢者を対象に実施した。受診者数は、238人と年々減少しているが、各医療機関で行っている胸部X線検診は、年々増加しており、この検診において結核の有無の読影も実施している。
	事業実施における課題等	結核の感染を早期に発見するためには、高齢者等の受診者を増やす必要がある。
	事業を縮小・廃止したときの影響	結核の感染者が増加し、入院者、死亡者が増加する。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持
	判定理由	BCG接種、胸部X線撮影により結核の感染の広がりを防ぐために必要であるため。
	改善案等	胸部X線検査の受診者を増やすため、広報での周知、地区でのミニ健康展との同時検査、老人福祉センターでの検査等を実施することとする。

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。